

神奈川県知事 殿

[設置者の名称] 学校法人 清水学園
[代表者の役職] 理事長
[代表者の氏名] 清水 裕

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	湘南平塚看護専門学校
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・ <u>専門学校</u>)
大学等の所在地	神奈川県平塚市富士見町5-17
学長又は校長の氏名	校長 志村 央子
設置者の名称	学校法人 清水学園
設置者の主たる事務所の所在地	神奈川県平塚市八重咲町1-6
設置者の代表者の氏名	理事長 清水 裕
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://www.sg-kango.com

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

 確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第5条第1項に基づき確認申請書を提出します。

 更新確認申請書の提出

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第5条第3項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

 この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。 この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取

り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	事務局 吉田 光一	0463-30-1900	Kango-jimu@shimizu-gakuen.jp
第2号の1	事務局 吉田 光一	0463-30-1900	Kango-jimu@shimizu-gakuen.jp
第2号の2	校長 志村 央子	0463-30-1900	Kango-kyoumu@shimizu-kuen.jp
第2号の3	校長 志村 央子	0463-30-1900	Kango-kyoumu@shimizu-kuen.jp
第2号の4	事務局 吉田 光一	0463-30-1900	Kango-jimu@shimizu-gakuen.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(3)②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(4)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

実務経験のある教員等による授業科目一覧

	授 業 科 目	指 定	学 則 単 位		講 師 名	実 務 経 験 内 容	
		規 則	単 位	時 間			
専 門 基 礎 分 野	疾 病 学 総 論		1	15	吉村 眞一	薬剤師 病院勤務	
	疾 病 治 療 論 I		1	30	大野 隆	医師 病院勤務	
	疾 病 治 療 論 II		1	30	鬼塚 圭一郎	医師 病院勤務	
					齋藤 育雄	医師 病院勤務	
	疾 病 治 療 論 III		2	45	小林 一郎	医師 病院勤務	
					水口 一郎	医師 病院勤務	
					田爪 圭	医師 病院勤務	
	疾 病 治 療 論 IV		1	30	松井 成明	臨床検査技師 病院勤務	
					齋藤 剛一	医師 病院勤務	
	疾 病 治 療 論 V		1	30	小勝 敏幸	医師 病院勤務	
					今村 嘉宣	歯科医師 病院勤務	
					小山 珠美	看護師 病院勤務	
					専任教員	看護師 病院勤務	
	微 生 物 学		1	30	田爪 正氣	医学博士 大学 病院勤務	
				築地 眞實	医学博士 大学 病院勤務		
薬 理 学 I		1	30	錫木 俊明	薬剤師 病院勤務		
薬 理 学 II		1	15				
専 門 基 礎 分 野 小 計		16	16	390			
健 康 支 援 と 社 会 保 障 制 度	健 康 科 学	6	1	15			
	社 会 福 祉		1	30			
	公 衆 衛 生 学		2	45			
	看 護 と 法 ・ 倫 理		1	30			
	関 係 法 規		1	15			
	専 門 基 礎 分 野 小 計	6	6	135			
専 門 基 礎 分 野 小 計		22	22	525			
専 門 分 野	学 科	基 礎 看 護 学	11	10	270		
		地 域 ・ 在 宅 看 護 論	6	5	165		
		成 人 看 護 学	6	6	150		
		老 年 看 護 学	4	3	90		
		小 児 看 護 学	4	3	75		
		母 性 看 護 学	4	4	105		
		精 神 看 護 学	4	4	105		
		領 域 横 断		5	135		
	看 護 の 統 合 と 実 践	4	4	120			
	専 門 分 野 学 科 合 計	43	44	1,215			
	臨 地 実 習	基 礎 看 護 学 実 習	3	3	135		
		地 域 ・ 在 宅 看 護 論 実 習	2	3	135		
		成 人 ・ 老 年 看 護 学 実 習	4	8	360		
		老 年 看 護 学 実 習		1	45		
小 児 看 護 学 実 習		2	2	90			
母 性 看 護 学 実 習		2	2	90			
精 神 看 護 学 実 習		2	2	90			
統 合 実 習		2	2	90			
		6					
専 門 分 野 実 習 小 計	23	23	1,035				

授 業 科 目	指定 規則	学則単位		講師名	実務経験内容
		単位	時間		
専門分野小計	66	67	2,250		
全分野総計	102	103	3,150		

科目名	疾病学総論 疾病の概論	単位数	1	時間数	15	科目区分	専門基礎分野 (疾病の成り立ちと回復の促進)	第1学年
講師名	外部講師	実務経験内容	薬剤師 病院勤務 大学講師	学期	後期			
科目の設定の理由								
臨床医学を学んでいく上で重要な「疾患の総論」、すなわち、病気の原因や病気の成り立ちについて学び、診療（検査、診断、治療）に結びつける科目として設定した。								
学習目標								
病的状態では、どのような組織・臓器の構造的変化、機能異常が起こるのか、その変化・異常はどのようにして起こるのか、臨床診断はどのように行われ、治療はどうやって行うのか、そのために看護、介護はどのような役割を果たすのか、これらの事項について検討する。								
回	授業計画	方法	評価					
1	教科書の項目順にしたがって授業を行います。授業の前に教科書を一読しておいてください。 (1) 病気と病理学：病理学と病理診断学の医療における位置づけ (2) 老化と死について	講義	終講試験（10割）					
2	(1) 生体の基本反応1：組織・細胞の異常と修復 (2) 生体の基本反応2：炎症について							
3	生体の基本反応3：免疫とその異常							
4	様々な病気と病因1：循環障害							
5	様々な病気と病因3：先天異常							
6	(1) 病因・病態を理解する1：環境による疾患 (2) 病因・病態を理解する1：生活習慣病							
7	病因・病態を理解する2：癌							
8	終講試験、まとめ							
		書名	著者	出版社				
テキスト		疾病のなりたちと回復の促進①病理学	大橋 健一	医学書院				
参考図書		病理学ナーシング・グラフィカ3病態生理学	山内豊明 編集	メディカ出版				

科目名	疾病治療論Ⅰ 消化器 肝・胆道系	単位数	1	時間数	30	科目区分	専門基礎分野 (疾病の成り立ちと回復の促進)	第1学年
講師名	外部講師	実務経験内容	医師 病院勤務				学期	後期
科目の設定の理由								
人間を系統立てて理解し、健康、疾病、障害に関する観察力、判断力を強化するために、消化器系、肝・胆道系の疾患・検査・診断・治療を学ぶ科目として設定した。								
学習目標								
消化器系：消化器の機能障害を起こす疾患と検査・治療を理解する。								
肝・胆道系：肝臓・胆嚢・膵臓の機能障害を起こす疾患と検査・治療を理解する。								
回	授業計画						方法	評価
1	消化器系 1. 消化器の構造と機能						講義	
2	2. 症状とその病態生理							
3	3. 検査と治療							
4	4. 疾患の理解：食道の疾患（逆流性食道炎、食道癌）							
5	4. 疾患の理解：胃・十二指腸疾患							
6	（急性胃炎、慢性胃炎、ヘリコバクターピロリ感染症、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃癌）							
7	4. 疾患の理解：腸および腹膜疾患							
8	（潰瘍性大腸炎、クローン病、虫垂炎、痔瘻、イレウス、大腸ポリープ 結腸癌、直腸癌、鼠経ヘルニア、腹膜炎、横隔膜ヘルニア）							
9	肝・胆道系 1. 肝・胆・膵系の構造と機能						講義	
10	2. 症状とその病態生理							
11	3. 検査と治療							
12	4. 疾患の理解：肝臓・胆嚢の疾患 （肝炎、胆管炎、膵炎、肝硬変、肝癌、胆嚢癌、胆管癌、膵 脂肪肝、アルコール性肝炎、胆石症）							
13・14	まとめ						課題	
15	終講試験、まとめ							
		書名				著者	出版社	
テキスト		成人看護学⑤ 消化器				南川雅子他	医学書院	
参考図書		病気がみえる Vol.1 消化器					メディックメディア	

科目名	疾病治療論Ⅱ 脳神経 骨・筋系	単位数	1	時間数	30	科目区分	専門基礎分野 (疾病の成り立ちと回復の促進)	第1学年	
講師名	外部講師	実務経験内容	医師 病院勤務 医師 病院勤務		学期	後期			
科目の設定の理由									
人間を系統立てて理解し、健康、疾病、障害に関する観察力、判断力を強化するために、脳神経系、骨・筋系の疾患・検査・診断・治療を学ぶ科目として設定した。									
学習目標									
脳神経系：脳神経の基礎的なことから検査、診断、治療や個々の疾患について理解する。									
骨・筋系：姿勢の保持、移動に関わる骨・関節・神経の運動性障害を起こす疾患と検査・治療を理解する。									
回	授業計画					方法	評価		
1	＜A講義＞脳神経系					講義	終講試験（5割）		
2	1. 脳・神経系の構造と機能								
3	2. 症状とその病態生理								
4	3. 検査・診断と治療・処置								
5	4. 疾患の理解：脳疾患 (脳血管障害：くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、もやもや病)								
6	4. 疾患の理解：脳疾患（頭蓋内圧亢進症、脳腫瘍、頭部外傷）								
7	4. 疾患の理解：末梢神経障害 (ギラン・バレー症候群、単ニューロパチー、顔面神経麻痺)								
8	4. 疾患の理解：筋疾患・神経筋接合部疾患（筋ジストロフィー、重症筋無力症）					講義	終講試験（5割）		
9	4. 疾患の理解：脱髄・変性疾患 (多発性硬化症、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症)								
10	4. 疾患の理解：脳・神経系の感染症（脳炎、髄膜炎）								
11	4. 疾患の理解：てんかん								
12	＜B講義＞骨・筋系								
13	1. 運動器の構造と機能								
14	2. 症状とその病態生理								
15	3. 診断・検査と治療								
	4. 疾患の理解：外傷性（外因性）の運動器疾患（骨折、脱臼、捻挫）								
	4. 疾患の理解：外傷性（外因性）の運動器疾患（脊髄損傷）								
	4. 疾患の理解：内因性（非外傷性）の運動器疾患 (骨髄炎、関節炎、変形性関節症、腫瘍：骨肉腫、骨粗鬆症、腰部脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア)								
	終講試験、まとめ								
		書名			著者		出版社		
テキスト		成人看護学⑦ 脳神経			井手 隆文 他		医学書院		
		成人看護学⑩ 運動器			田中 栄 他		医学書院		
参考図書		ぜんぶわかる脳の事典			坂井 健雄		成美堂出版		
全体評価		A講義、B講義それぞれの終講試験が6割以上で単位修得とする。ただし、最終評価はすべての終講試験を合わせた評価となる。							

科目名	疾病治療論Ⅲ 呼吸器 循環器 血液系	単位数	2	時間数	45	科目区分	専門基礎分野 (疾病の成り立ちと回復の促進)	第2学年	
講師名	外部講師	実務経験内容	医師 病院勤務 医師 病院勤務 医師 病院勤務		学期	全期			
科目の設定の理由									
人間を系統立てて理解し、健康、疾病、障害に関する観察力、判断力を強化するために、呼吸器系、循環器系、血液系の疾患・検査・診断・治療を学ぶ科目として設定した。 解剖学、生理学、生化学、細菌学（微生物学）で学んだ基礎知識を基に、異常が生じた場合の症状や症候の成り立ちや重要性を理解し覚えることは大切である。これらをもとにし、異常が生じた場合の症状や症候の成り立ちや重要性を理解し覚えることが必要である。これらの学習を通して一般的な思考方法を学んでいくことはこれからの学習に重要である。									
学習目標									
呼吸器系：呼吸器系の障害を起こす疾患と検査・治療を理解する。 循環器系：循環器障害を起こす疾患と検査・治療を理解する 血液系：造血機能の異常を起こす疾患と検査・治療を理解する。									
回	授業計画					方法	評価		
1	＜A講義＞呼吸器系 1. 呼吸器の構造と機能 2. 症状とその病態生理					講義	終講試験（3割）		
2	3. 検査と治療・処置								
3	4. 疾患の理解：感染症（気管支炎、肺炎、結核）、間質性肺炎								
4	4. 疾患の理解：気道疾患（気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD））								
5	4. 疾患の理解：肺循環障害（肺血栓塞栓症、肺高血圧症）								
6	4. 疾患の理解：肺腫瘍（肺癌、中皮腫）								
7	4. 疾患の理解：胸膜・縦隔・横隔膜の疾患（胸膜炎、気胸）								
8	＜B講義＞循環器系 1. 循環器系の構造と機能					講義	終講試験（5割）		
9	2. 症状とその病態生理								
10～17	3. 検査と治療・処置 4. 疾患の理解：虚血性心疾患、心不全、血圧異常、不整脈								
	4. 疾患の理解：弁膜症、感染性心内膜炎、心膜炎、心タンポナーデ								
	4. 疾患の理解：心筋症、心筋炎、先天性心疾患 （動脈管開存症、心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、ファロー四徴症）								
18・19	＜C講義＞血液系 1. 血液の生理と造血のしくみ					講義	終講試験（2割）		
20	2. 検査・診断								
21	3. 症候とその病態生理 4. 疾患と治療の理解：赤血球系の異常 （鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、溶血性貧血、二次性貧血）								
22	4. 疾患と治療の理解：白血球減少症、出血性疾患（TTP、ITP、DIC）								
	4. 疾患と治療の理解：造血器腫瘍 （白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫）								
終講試験									
		書名			著者		出版社		
テキスト		成人看護学② 呼吸器			浅野 浩一郎 他		医学書院		
		成人看護学③ 循環器			阿部 光樹 他		医学書院		
		成人看護学④ 血液・造血器			飯野 京子他		医学書院		
参考図書		病気が見える Vol.5 血液 第2版 細胞図鑑			鈴木 茂 監修		メディックメディア 新星出版社		
全体評価		A講義、B講義、C講義それぞれの終講試験が6割以上で単位修得とする。 ただし、最終評価はすべての終講試験を合わせた評価となる。							

科目名	疾病治療論IV 内分泌 女性生殖器 腎・泌尿器系	単位数	1	時間数	30	科目区分	専門基礎分野 (疾病の成り立ちと回復の促進)	第2学年
講師名	外部講師	実務経験内容	臨床検査技師 病院勤務 医師 病院勤務				学期	前期
科目の設定の理由								
人間を系統立てて理解し、健康・疾病・障害に関する観察力、判断力を強化するために、内分泌・代謝系、女性生殖器系の疾患・検査・診断・治療を学ぶ科目として設定した。								
学習目標								
内分泌・代謝系：内分泌機能の低下・亢進を起こす疾患と検査、治療を理解する。 女性生殖器系：女性生殖機能障害を起こす疾患と検査、治療を理解する。 腎：腎機能に関する理解を基に、腎機能検査の目的、方法が分かる。また、腎機能障害の症状および程度とそれに対する治療方法が理解できる。 泌尿器：看護師としてしばしば見る疾患について、検査や治療を学ぶ。排尿管理を考える手技を学ぶ。								
回	授業計画					方法	評価	
1	＜A講義＞内分泌・代謝系 1. 内分泌器官の構造と機能					講義	終講試験（3割）	
2	2. 代謝の概要と機能							
3	3. 症状とその病態生理							
4	4. 検査							
5	5. 内分泌疾患の理解：視床下部－下垂体前葉系疾患、視床下部－下垂体後葉系疾患							
6	5. 内分泌疾患の理解：甲状腺疾患 (甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、甲状腺炎)					講義	終講試験（3割）	
7	5. 内分泌疾患の理解：副甲状腺疾患、副腎疾患、腫瘍 (下垂体腫瘍、甲状腺癌)							
8	5. 代謝疾患の理解：糖尿病、脂質異常症 肥満症とメタボリックシンドローム、尿酸代謝異常							
9	＜B講義＞女性生殖器系 1. 女性生殖器系の構造と機能							
10	2. 症状とその病態生理							
11	3. 診察・検査と治療・処置					講義	終講試験（4割）	
12	4. 疾患の理解：子宮の疾患（子宮筋腫、子宮内膜症、子宮体癌、子宮頸癌）							
13	4. 疾患の理解：卵巣の疾患（卵巣嚢腫）、乳房の疾患（乳腺炎、乳腺症、乳癌）							
14	4. 疾患の理解：機能的疾患（月経異常・月経随伴症状、更年期障害）							
15	＜C講義＞腎・泌尿器系 1. 腎臓・尿管・膀胱・尿道・男性生殖器の構造と機能							
16	2. 症状とその病態生理					講義	終講試験（4割）	
17	3. 検査と治療・処置							
18	4. 疾患の理解：腎不全とAKI・CKD、ネフローゼ症候群、糸球体腎炎							
19	4. 疾患の理解：全身性疾患による腎障害							
20	4. 疾患の理解：尿路・性器の感染症（腎盂腎炎、膀胱炎） 4. 疾患の理解：前立腺炎、前立腺肥大症、尿路結石症 尿路・性器の腫瘍（腎癌、尿管癌、膀胱癌、前立腺癌）							
終講試験								
		書名			著者		出版社	
テキスト		成人看護学⑥ 内分泌・代謝			繪本 正憲他 編集		医学書院	
		成人看護学⑨ 女性生殖器			池田 正 他		医学書院	
		成人看護学⑧ 腎・泌尿器			今井亜矢子他		医学書院	
参考図書		病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌			森野勝太郎他 監修		メディックメディア	
		病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科			井上 裕美他監修		メディックメディア	
		病気がみえる vol.8 腎・泌尿器			池森（上條）敦子他監修		メディックメディア	
全体評価		A講義、B講義、C講義それぞれ6割に満たなかった場合は再試験を実施する。A講義、B講義、C講義を合わせた点数が最終評価となり、合計6割以上で単位修得とする。						

科目名	疾病治療論Ⅴ 耳鼻咽喉 皮膚 眼 歯科	単位数	1	時間数	30	科目区分	専門基礎分野 (疾病の成り立ちと回復の促進)	第3学年
講師名	外部講師	実務経験内容	医師 病院勤務/ /医師 病院勤務				学期	全期
科目の設定の理由								
人間を系統立てて理解し、健康・疾病・障害に関する観察力、判断力を強化するために、耳鼻咽喉、皮膚、眼、歯科口腔の疾患・検査・診断・治療を学ぶ科目として設定した。								
学習目標								
1) 耳鼻咽喉：耳鼻咽喉にかかわる検査・治療と疾患を理解する。 2) 皮膚：皮膚にかかわる検査・治療と疾患を理解する。 3) 眼：眼にかかわる検査・治療と疾患を理解する。 4) 歯科口腔：歯科口腔にかかわる検査・治療と疾患を理解する。								
回	授業計画					方法	評価	
1	＜A講義＞耳鼻咽喉 1. 耳鼻咽喉・頸部の構造と機能					講義	終講試験（1割）	
2	2. 症状とその病態生理 3. 検査と治療 4. 疾患の理解：咽頭炎、扁桃炎、メニエール病、咽頭癌							
3～6	＜B講義＞皮膚疾患 1. 皮膚の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 検査と治療・処置 4. 疾患の理解：湿疹、アトピー性皮膚炎、帯状疱疹、疥癬、蜂窩織炎					講義	終講試験（3割）	
7～10	＜C講義＞眼 1. 眼の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 検査と治療・処置 4. 疾患の理解：白内障、緑内障、網膜剥離、網膜症							
11～14	＜D講義＞歯科口腔 1. 歯・口腔の構造と機能 2. 症状とその病態生理 3. 検査と治療・処置 4. 疾患の理解：う歯、歯周病、口腔癌					講義	終講試験（3割）	
15	終講試験、まとめ							
		書名			著者		出版社	
テキスト		成人看護学⑩ 皮膚 成人看護学④ 眼・耳鼻咽喉科・歯・口腔			渡辺 晋一 他 生井 明浩 他		医学書院 医学書院	
参考図書		病気がみえる vol.13 耳鼻咽喉科 病気がみえる vol.14 皮膚科 病気がみえる vol.12 眼科			松村 譲児他監修 桃島 健治他監修 村田 敏規他監修		メディックメディア メディックメディア メディックメディア	
全体評価		A講義、B講義、C講義、D講義それぞれの終講試験が6割以上で単位修得とする。ただし、最終評価はすべての終講試験を合わせた評価となる。						

科目名	微生物学	単位数	1	時間数	30	科目区分	専門基礎分野 (疾病の成り立ちと回復の促進)	第1学年
講師名	外部講師	実務経験内容	医学博士 大学 病院勤務				学期	前期
科目の設定の理由								
<p>新しい感染症の出現【新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) , 新型インフルエンザウイルス (A/H1N1) 感染症など】 , すでに解決済みと考えられていた感染症の復活【結核症など】 , ますます深刻化する薬剤耐性菌による医療関連感染【メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) やバンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VISA) など】 , このように感染症を取りまく環境は複雑化し , かつ制御するのが困難な疾病として再認識されるようになった。したがって , 将来医療現場で活躍する学生は , このような感染症の問題に対処するために微生物学・感染症学の知識を習得して , 安全な医療を実現しなければならない。</p>								
学習目標								
<p>医療従事者にとって , 微生物学・感染症学に関する知識は感染防止上から重要である。ここではどのような微生物がどのような疾患を起こすか , その予防と対策はどうするのか , ということを簡潔に講義する。医療関連感染予防対策の基本となる感染症の概念 , 標準予防策および感染経路別予防策 , 消毒・滅菌法 , 抗微生物薬などについて学習した後 , 感染症の免疫を中心とした基礎免疫学 , 細菌やウイルスなどの生物学的特徴 , 検査材料の取り扱い方 , 主たる感染微生物の種類とその病気について学習し , 理解する。</p>								
回	授業計画					方法	評価	
1	病原微生物の基礎知識					講義	終講試験 (10割)	
2	感染症とは							
3	感染症の診断・検査・治療 (1)							
4	感染症の診断・検査・治療 (2)							
5	感染症の予防対策 (1)							
6	感染症の予防対策 (2)							
7	感染防御のしくみ (1)							
8	感染防御のしくみ (2)							
9	知っておきたい感染症 (1) - 細菌によるおもな感染症							
10	知っておきたい感染症 (2) - ウイルスによるおもな感染症							
11	知っておきたい感染症 (3) - 真菌・原虫・ダニによるおもな感染症							
12	知っておきたい感染症 (4) - 感染性食中毒・性感染症							
13	知っておきたい感染症 (5) - 人畜共通感染症・昆虫媒介感染症・							
14	知っておきたい感染症 (6) - ウイルス性肝炎・ウイルス性かぜ症候群							
15	終講試験、まとめ							
		書名			著者		出版社	
テキスト		新訂版 感染と微生物の教科書			田爪・築地・志水・横山・武井・糠信		研成社	
参考図書		イラストでわかる微生物学超入門			齊藤光正		南山堂	
		感染対策 完全図解 マニュアル			インフェクションコントロール編集室		メディカ出版	
		イメージするカラダのしくみ 免疫			医療情報科学研究所		メディックメディア	

科目名	薬理学 I	単位数	1	時間数	30	科目区分	専門基礎分野 (疾病の成り立ちと回復の促進)	第1学年							
講師名	外部講師	実務経験内容	薬剤師 病院勤務				学期	後期							
科目の設定の理由															
<p>現代の高度化した医療ではチーム医療が重視されており、薬物治療においても、看護師・医師・薬剤師をはじめとする多職種連携は非常に重要である。患者に接する時間・機会が最も多い看護師には、薬物の作用や副作用、投与するときの注意点などを十分に理解し、薬物の作用を十分に引き出すとともに、医療事故の防止に寄与することが求められている。薬物療法に関わる看護師として、薬に関する基礎知識を身につけ今後の学習に発展できるように科目を設定した。</p>															
学習目標															
<p>1. 薬の種類と基礎的な作用・効能を理解する。</p> <p>2. 代表的な疾患とその治療薬について理解する。</p>															
回	授業計画	方法	評価												
1～2	薬理学の基礎知識	講義	終講試験 (5割)												
3～4	抗感染症薬														
5	抗がん剤														
6	免疫治療薬														
7	抗アレルギー薬・抗炎症薬														
8～9	末梢で神経活動に作用する薬物														
10	中枢神経系に作用する薬物														
11～12	循環器系に作用する薬物														
13	呼吸器・消化器・生殖器に作用する薬物														
14	物質代謝に作用する薬物														
15	終講試験、まとめ														
	書名								著者	出版社					
テキスト	疾病の成り立ちと回復の促進③ 薬理学								大鹿 英世 他	医学書院					
参考図書	薬がみえる vol. 1								野元 正弘他監修	メディックメディア					
	薬がみえる vol. 2								弘世 貴久他監修	メディックメディア					
	薬がみえる vol. 3	福本 陽平他監修	メディックメディア												
	薬がみえる vol. 4	田村 和弘他監修	メディックメディア												

科目名	薬理学Ⅱ 臨床薬理学	単位数	1	時間数	15	科目区分	専門基礎分野 (疾病の成り立ちと回復の促進)	第3学年
講師名	外部講師	実務経験内容	薬剤師 薬学博士 大学教授			学期	前期	
科目の設定の理由								
医療の中で薬物療法は重要な位置を占めており、看護師にとっても医薬品の知識の修得は必須事項である。薬理学Ⅱでは1年次に学んだ薬理学Ⅰを基本とし、チーム医療の一員として治療に貢献できる看護師を育て、且つ実際の臨床現場でより役立つ科目として設定した。								
学習目標								
1. 生活習慣病、消化器疾患、がん、感染症などの疾患に焦点をあて、薬物療法の効果、投与方法、有害作用及び服薬指導等について学習する。								
2. 薬物療法における患者の安全確保、看護における注意点を学習する。								
3. 医師と看護師との連携について学習する。								
回	授業計画					方法	評価	
1	1. 薬理学総論 (第1部)					講義	終講試験 (10割)	
2	2. 抗感染症薬 (第2部; 第3章)							
3	3. 抗がん剤 (第2部: 第4章)							
4	4. 抗アレルギー薬・抗炎症薬 (第2部: 第6章)							
5	5. 末梢での神経活動に作用する薬物 (第2部: 第7章)							
6	6. 中枢神経系に作用する薬物 (第2部: 第8章)							
7	7. 国家試験対策							
8	終講試験、まとめ							
		書名			著者		出版社	
テキスト		疾病の成り立ちと回復の促進③ 薬理学			吉岡 充弘 他		医学書院	
参考図書		薬がみえる vol. 1			野元 正弘他監修		メディックメディア	
		薬がみえる vol. 2			弘世 貴久他監修		メディックメディア	
		薬がみえる vol. 3			福本 陽平他監修		メディックメディア	
		薬がみえる vol. 4			田村 和弘他監修		メディックメディア	

役員等氏名一覧表

令和6年5月1日現在

役職名	氏名	氏名のカナ	生年月日 (大正T,昭和S,平成H)	性別 (男・女)	住所
代表者 理事長	清水 裕	シミズ ユカ	T S H 33.7.30	男	〒254-0824 平塚市花水台14-44
理事	高橋 利夫	タカハシ トシオ	T S H 19.8.27	男	〒258-0112 足柄上郡山北町143-20
理事	根岸 達郎	ネギシ タツロウ	T S H 15.8.9	男	〒254-0032 平塚市八千代町3-10
理事	大中臣 二郎	オナカミ ジロウ	T S H 17.7.10	男	〒251-0056 藤沢市羽鳥1-1-60 ライフハウス湘南辻堂301号
理事	清水 怜	シミズ サチ	T S H 3.10.20	男	〒254-0911 平塚市山下498-1 パストラル湘南II302号
理事	森 誠司	モリ セイジ	T S H 37.1.23	男	〒254-0824 平塚市東八幡2-12-11
監事	石井 雍良	イシイ ヤスヨシ	T S H 13.7.22	男	〒254-0824 平塚市花水台5-1
監事	高木 一磨	タカギ カスマ	T S H 51.7.24	男	〒259-1220 平塚市めぐみが丘1-4-22
			T S H . .		

記載した全ての代表者又は役員のうち暴力団員に該当する者はいません。また、記載した全ての者は、暴力団員に該当しないことを確認するため、本様式に記載された情報を神奈川県警察本部に照会することについて、同意しています。

協力金の交付後に、県が本様式に記載された情報と登記事項証明書の記載事項を照合し、相違がある場合には、協力金を返還します。

(法人名)

学校法人清水学園

(代表者の職・氏名)

理事長

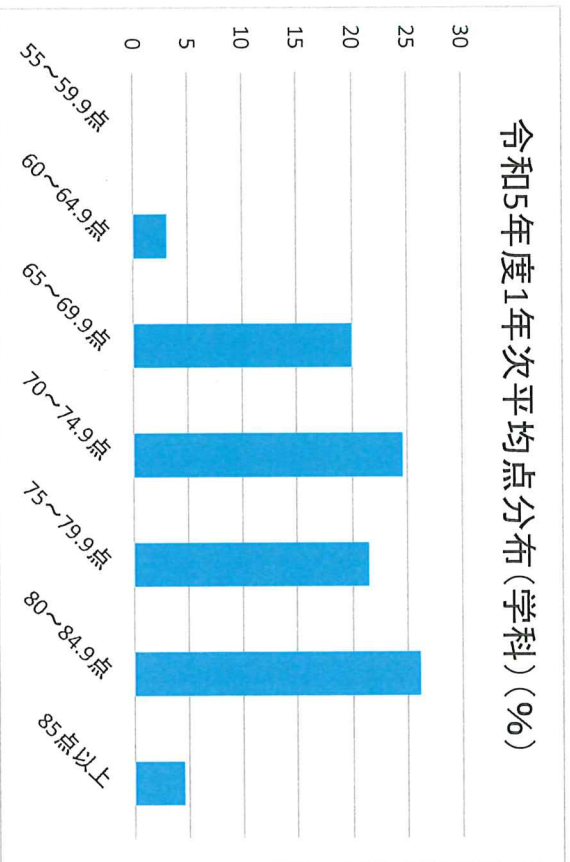
(代表者印)

清水 裕



添付資料 客観的な指標に基づく成績の分布状況

点数	55～59.9点	60～64.9点	65～69.9点	70～74.9点	75～79.9点	80～84.9点	85点以上
割合	0	3.1	20	24.6	21.5	26.2	4.6



* 下位4分の1

点数	55～59.9点	60～64.9点	65～69.9点	70～74.9点
人数	0	2	13	1

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校コード	H114320300032	学校名	湘南平塚看護専門学校
設置者名	学校法人 清水学園		

I. ①直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	675,496,430円	631,298,678円	44,197,752円
申請2年度前の決算	705,322,334円	650,180,847円	55,141,487円
申請3年度前の決算	655,882,051円	594,727,546円	61,154,505円

I. ②直前の決算の貸借対照表における「運用資産－外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	937,478,946円	437,074,242円	500,404,704円

II. 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率(F)/(E)
今年度(申請年度)	360人	244人	67%
前年度	360人	274人	76%
前々年度	360人	287人	79%

大学・短期大学・高等専門学校で、II. 申請校の直近3年度の全ての収容定員充足率が8割未満の場合
申請前年度に当該学校を卒業した者について、今年度(申請年度)5月1日時点の状況について

(A)又は(B)のいずれかを記載

・申請校の直近の進学・就職率の状況(A)学校基本統計を利用する場合

	卒業者数(G)	進学者数+就職者数(H)	進学・就職率(H)/(G)
申請前年度の状況	84人	84人	100%

・申請校の直近の進学・就職率の状況(B)学校基本統計を利用しない場合

	進学希望者+就職希望者(I)	進学者数+就職者数(J)	進学・就職率(J)/(I)
申請前年度の状況			#DIV/0!

(I. ②の補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	資産の内容	申請前年度の決算における金額
現金預金		891,905,044円
未収入金	授業料・施設型給付費・補助金等	21,120,378円
貯蔵品	衛生管理費用・学生用ICカード等	24,453,524円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	負債の内容	申請前年度の決算における金額
借入金		86,447,000円
未払金	広報費・教材費・退職金等	29,189,262円
前受金・預り金等	学生生徒納付金及び教材費預り等	321,437,980円

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	918,775	I 流動負債	365,094
II 固定資産	1,901,948	II 固定負債	195,384
有形固定資産	1,883,245		
無形固定資産	10,980	負債合計	560,478
その他の資産	7,723	純資産の部	
		I 基本金	3,052,132
		II 繰越剰余金	△ 791,887
		純資産合計	2,260,245
資産合計	2,820,723	負債・純資産合計	2,820,723

損益計算書

令和5年4月1日から

令和6年3月31日まで

(単位:千円)

収入の部		支出の部	
I 学生生徒納付金収入	379,904	I 人件費	395,387
II 手数料収入	5,536	II 経費	252,909
III 補助金収入	266,488	III 借入金等利息	648
IV 寄付金	0	IV 資産処分差額	
V その他収入	24,202		
資産運用収入	1,819		
事業収入	14,429		
雑収入	7,954	消費支出合計	648,944
帰属収入合計	676,130	当年度収支差額	4,134
基本金組入額	△ 23,052	基本金取崩額	
消費収入合計	653,078	繰越支出超過額	4,134

事業活動収支計算書

令和 5 年 4 月 1 日 から
令和 6 年 3 月 3 1 日 まで

(単位 円)

		予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	科 目			
	学生生徒等納付金	(380,465,000)	(379,904,000)	(561,000)
	授 業 料	332,200,000	331,667,600	532,400
	入 学 金	23,800,000	23,800,000	0
	実 験 実 習 料	13,600,000	13,590,000	10,000
	施 設 設 備 資 金	10,100,000	10,084,500	15,500
	冷 暖 房 費	385,000	381,900	3,100
	特 別 教 育 協 力 費	380,000	380,000	0
	手 数 料	(5,885,000)	(5,536,551)	(348,449)
	入 学 検 定 料	2,180,000	2,094,000	86,000
	試 験 料	3,500,000	3,255,000	245,000
	証 明 手 数 料	205,000	187,551	17,449
	寄 付 金	(0)	(0)	(0)
	経常費等補助金	(267,000,000)	(266,488,353)	(511,647)
	県 補 助 金	55,900,000	55,866,454	33,546
	市 補 助 金	2,100,000	2,040,700	59,300
	施 設 型 給 付 費	209,000,000	208,581,199	418,801
	付随事業収入	(14,500,000)	(14,429,583)	(70,417)
	補 助 活 動 収 入	14,500,000	14,429,583	70,417
	雑 収 入	(9,460,000)	(9,130,087)	(329,913)
	施 設 設 備 利 用 料	1,860,000	1,810,892	49,108
退職基金財団給付金収入	4,400,000	4,293,748	106,252	
そ の 他 の 雑 収 入	3,200,000	3,025,447	174,553	
教育活動収入計	677,310,000	675,488,574	1,821,426	

(単位 円)

	科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動支出の部	人 件 費	(395,700,000)	(395,387,577)	(312,423)
	教 員 人 件 費	280,400,000	280,357,884	42,116
	職 員 人 件 費	70,500,000	70,449,727	50,273
	役 員 報 酬	31,500,000	31,483,668	16,332
	退職給与引当金繰入額	4,700,000	4,602,550	97,450
	退 職 金	8,600,000	8,493,748	106,252
	経 費	(238,267,000)	(235,262,719)	(3,004,281)
	消 耗 品 費	8,600,000	8,339,387	260,613
	光 熱 水 費	13,000,000	12,719,836	280,164
	旅 費 交 通 費	4,870,000	4,480,687	389,313
	奨 学 費	30,600,000	30,512,200	87,800
	修 繕 費	800,000	746,649	53,351
	減 価 償 却 額	75,000,000	74,690,412	309,588
	厚 生 費	4,480,000	4,416,716	63,284
	通 信 費	7,350,000	7,301,843	48,157
	印 刷 製 本 費	7,950,000	7,891,149	58,851
	報 酬	7,250,000	7,224,498	25,502
	諸 会 費	1,350,000	1,313,085	36,915
	車 両 関 連 費	2,950,000	2,861,600	88,400
	委 託 料	18,400,000	18,027,996	372,004
	賃 借 料	10,400,000	10,334,625	65,375
	損 害 保 険 料	1,200,000	1,181,370	18,630
	公 租 公 課	212,000	202,100	9,900
	広 報 費	21,500,000	21,152,327	347,673
	保 健 衛 生 費	205,000	193,806	11,194
	行 事 費	1,100,000	1,080,330	19,670
	研 修 費	850,000	795,031	54,969
	支 払 手 数 料	950,000	947,766	2,234
	交 際 接 待 費	6,550,000	6,230,796	319,204
	補 助 活 動 費	12,700,000	12,618,510	81,490
徴収不能額等	(0)	(0)	(0)	
教育活動支出計	633,967,000	630,650,296	3,316,704	
教育活動収支差額	43,343,000	44,838,278	△ 1,495,278	

(単位 円)

		予 算	決 算	差 異	
教育活動収入の部	事業活動収入の部				
	科 目				
	受取利息・配当金	(8,500)	(7,856)	(644)	
	受取利息・配当金	8,500	7,856	644	
	その他の教育活動外収入	(0)	(0)	(0)	
	教育活動外収入計	8,500	7,856	644	
	事業活動支出の部	借入金等利息	(700,000)	(648,382)	(51,618)
		借入金利息	700,000	648,382	51,618
		その他の教育活動外支出	(0)	(0)	(0)
		教育活動外支出計	700,000	648,382	51,618
教育活動外収支差額		△ 691,500	△ 640,526	△ 50,974	
経常収支差額	42,651,500	44,197,752	△ 1,546,252		
特別収入の部	事業活動収入の部				
	資産売却差額	(500,000)	(471,719)	(28,281)	
	設備売却差額	500,000	471,719	28,281	
	その他の特別収入	(200,000)	(163,098)	(36,902)	
	過年度修正額	200,000	163,098	36,902	
	特別収入計	700,000	634,817	65,183	
	事業活動支出の部	資産処分差額	(1,000)	(5)	(995)
		設備処分差額	1,000	5	995
		その他の特別支出	(17,900,000)	(17,646,726)	(253,274)
		過年度修正額	17,900,000	17,646,726	253,274
特別支出計		17,901,000	17,646,731	254,269	
特別収支差額	△ 17,201,000	△ 17,011,914	△ 189,086		
[予備費]	(1,000,000)		0		
	1,000,000				
基本金組入前当年度収支差額	24,450,500	27,185,838	△ 2,735,338		
基本金組入額合計	△ 23,000,000	△ 23,052,163	52,163		
当年度収支差額	1,450,500	4,133,675	△ 2,683,175		
前年度繰越収支差額	△ 796,020,550	△ 796,020,550	0		
基本金取崩額	0	0	0		
翌年度繰越収支差額	△ 770,826,731	△ 791,886,875	21,060,144		
(参考)					
事業活動収入計	678,018,500	676,131,247	1,887,253		
事業活動支出計	652,568,000	648,945,409	3,622,591		

事業活動収支計算書

令和 4 年 4 月 1 日 から
令和 5 年 3 月 3 1 日 まで

(単位 円)

		予 算	決 算	差 異
教育活動収入の部	科 目			
	学生生徒等納付金	(396,850,000)	(393,759,000)	(3,091,000)
	授 業 料	337,900,000	334,960,000	2,940,000
	入 学 金	34,800,000	34,800,000	0
	実 験 実 習 料	13,500,000	13,433,000	67,000
	施 設 設 備 資 金	9,900,000	9,825,000	75,000
	冷 暖 房 費	370,000	361,000	9,000
	特 別 教 育 協 力 費	380,000	380,000	0
	事 業 活 動 収 入			
	手 数 料	(6,525,000)	(6,238,951)	(286,049)
	入 学 検 定 料	2,850,000	2,776,000	74,000
	試 験 料	3,500,000	3,296,000	204,000
	証 明 手 数 料	175,000	166,951	8,049
	寄 付 金	(0)	(0)	(0)
	経 常 費 等 補 助 金	(268,500,000)	(266,859,899)	(1,640,101)
	県 補 助 金	75,000,000	74,968,447	41,553
	市 補 助 金	1,500,000	1,499,150	850
	施 設 型 給 付 費	190,000,000	188,409,182	1,590,818
	保 育 給 付 費	2,000,000	1,993,120	6,880
	付 随 事 業 収 入	(15,000,000)	(14,980,244)	(19,756)
	補 助 活 動 収 入	15,000,000	14,980,244	19,756
	雑 収 入	(23,600,000)	(23,476,645)	(123,355)
	施 設 設 備 利 用 料	2,150,000	2,125,208	24,792
	退 職 基 金 財 団 給 付 金 収 入	16,600,000	16,515,621	84,379
	そ の 他 の 雑 収 入	4,850,000	4,835,816	14,184
	教育活動収入計	710,475,000	705,314,739	5,160,261

(単位 円)

		予 算	決 算	差 異
教育活動支出の部	科 目			
	人 件 費	(410,100,000)	(409,470,168)	(629,832)
	教 員 人 件 費	289,900,000	289,502,703	397,297
	職 員 人 件 費	67,500,000	68,312,028	△ 812,028
	役 員 報 酬	31,600,000	30,630,039	869,961
	退職給与引当金繰入額	4,500,000	4,385,457	114,543
	退 職 金	16,700,000	16,639,941	60,059
	経 費	(242,820,000)	(239,801,132)	(3,018,868)
	消 耗 品 費	11,800,000	11,547,401	252,599
	光 熱 水 費	15,500,000	15,296,494	203,506
	旅 費 交 通 費	4,050,000	4,376,982	△ 326,982
	奨 学 費	29,000,000	28,801,600	198,400
	修 繕 費	13,650,000	13,607,146	42,854
	減 価 償 却 額	67,000,000	66,684,060	315,940
	厚 生 費	4,250,000	4,077,152	172,848
	通 信 費	6,000,000	5,855,002	144,998
	印 刷 製 本 費	5,100,000	5,006,886	93,114
	報 酬	6,800,000	6,741,564	58,436
	諸 会 費	1,500,000	1,301,710	198,290
	車 両 関 連 費	2,000,000	1,983,268	16,732
	委 託 料	19,400,000	19,019,523	380,477
	賃 借 料	10,420,000	10,360,984	59,016
	損 害 保 険 料	1,150,000	1,113,710	36,290
	公 租 公 課	2,000,000	1,906,100	93,900
	広 報 費	20,500,000	19,937,626	562,374
	保 健 衛 生 費	400,000	350,814	49,186
	行 事 費	1,050,000	1,011,857	38,143
	研 修 費	800,000	787,850	12,150
	支 払 手 数 料	1,150,000	1,079,909	70,091
	交 際 接 待 費	5,750,000	5,577,887	172,113
補 助 活 動 費	13,500,000	13,375,607	124,393	
徴収不能額等	(0)	(0)	(0)	
教育活動支出計	652,920,000	649,271,300	3,648,700	
教育活動収支差額	57,555,000	56,043,439	1,511,561	

(単位 円)

		予 算	決 算	差 異
教育活動外収入の部	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	(9,500)	(7,595)	(1,905)
	受取利息・配当金	9,500	7,595	1,905
	その他の教育活動外収入	(0)	(0)	(0)
	教育活動外収入計	9,500	7,595	1,905
	事業活動支出の部			
	借入金等利息	(1,000,000)	(909,547)	(90,453)
	借入金利息	1,000,000	909,547	90,453
	その他の教育活動外支出	(0)	(0)	(0)
	教育活動外支出計	1,000,000	909,547	90,453
教育活動外収支差額	△ 990,500	△ 901,952	△ 88,548	
経常収支差額	56,614,500	55,141,487	1,473,013	
特別収支	事業活動収入の部			
	資産売却差額	(0)	(0)	(0)
	その他の特別収入	(15,078,000)	(15,078,000)	(0)
	施設設備補助金	15,078,000	15,078,000	0
	特別収入計	15,078,000	15,078,000	0
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	(0)	(26)	(△ 26)
	設備処分差額	0	26	△ 26
	その他の特別支出	(50,000)	(22,000)	(28,000)
	過年度修正額	50,000	22,000	28,000
特別支出計	50,000	22,026	27,974	
特別収支差額	15,028,000	15,055,974	△ 27,974	
{予備費}	(0)		0	
基本金組入前当年度収支差額	71,642,500	70,197,461	1,445,039	
基本金組入額合計	△ 29,300,000	△ 29,565,381	265,381	
当年度収支差額	42,342,500	40,632,080	1,710,420	
前年度繰越収支差額	△ 836,652,630	△ 836,652,630	0	
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△ 794,310,130	△ 796,020,550	1,710,420	
(参考)				
事業活動収入計	725,562,500	720,400,334	5,162,166	
事業活動支出計	653,920,000	650,202,873	3,717,127	

事業活動収支計算書

令和 3 年 4 月 1 日 から
令和 4 年 3 月 3 1 日 まで

(単位 円)

		予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	科 目			
	学生生徒等納付金	(383,940,000)	(383,393,500)	(546,500)
	授 業 料	327,060,000	326,621,200	438,800
	入 学 金	33,400,000	33,400,000	0
	実 験 実 習 料	13,000,000	12,997,000	3,000
	施 設 設 備 資 金	9,820,000	9,740,000	80,000
	冷 暖 房 費	360,000	355,300	4,700
	特 別 教 育 協 力 費	300,000	280,000	20,000
	手 数 料	(8,280,000)	(8,213,984)	(66,016)
	入 学 検 定 料	5,100,000	5,051,000	49,000
	試 験 料	3,000,000	2,985,000	15,000
	証 明 手 数 料	180,000	177,984	2,016
	寄 付 金	(0)	(0)	(0)
	経常費等補助金	(241,000,000)	(239,662,749)	(1,337,251)
	県 補 助 金	63,500,000	63,438,405	61,595
	施 設 型 給 付 費	175,000,000	173,907,844	1,092,156
	保 育 給 付 費	2,500,000	2,316,500	183,500
	付随事業収入	(14,000,000)	(13,819,758)	(180,242)
	補 助 活 動 収 入	14,000,000	13,819,758	180,242
	雑 収 入	(10,900,000)	(10,785,514)	(114,486)
	施 設 設 備 利 用 料	2,040,000	2,029,808	10,192
	退 職 基 金 財 団 給 付 金 収 入	4,200,000	4,180,500	19,500
そ の 他 の 雑 収 入	4,660,000	4,575,206	84,794	
教育活動収入計	658,120,000	655,875,505	2,244,495	

(単位 円)

		予 算	決 算	差 異
教育活動支出の部	科 目			
	人 件 費	(391,650,000)	(389,298,628)	(2,351,372)
	教 員 人 件 費	294,000,000	292,937,082	1,062,918
	職 員 人 件 費	60,450,000	59,240,630	1,209,370
	役 員 報 酬	29,000,000	28,595,488	404,512
	退職給与引当金繰入額	4,000,000	4,344,928	△ 344,928
	退 職 金	4,200,000	4,180,500	19,500
	経 費	(205,635,000)	(204,327,391)	(1,307,609)
	消 耗 品 費	7,000,000	6,911,996	88,004
	光 熱 水 費	11,700,000	11,952,074	△ 252,074
	旅 費 交 通 費	3,050,000	3,365,834	△ 315,834
	奨 学 費	25,500,000	25,263,400	236,600
	修 繕 費	1,400,000	1,320,107	79,893
	減 価 償 却 額	65,950,000	65,295,709	654,291
	厚 生 費	3,060,000	2,998,718	61,282
	通 信 費	6,100,000	6,017,664	82,336
	印 刷 製 本 費	6,100,000	6,046,693	53,307
	報 酬	6,300,000	6,255,898	44,102
	諸 会 費	1,300,000	1,277,245	22,755
	車 両 関 連 費	2,450,000	2,428,988	21,012
	委 託 料	10,850,000	10,844,706	5,294
	賃 借 料	10,520,000	10,496,360	23,640
	損 害 保 険 料	1,550,000	1,500,666	49,334
	公 租 公 課	380,000	358,200	21,800
	広 報 費	22,700,000	22,555,313	144,687
	保 健 衛 生 費	750,000	734,155	15,845
	行 事 費	900,000	892,536	7,464
	研 修 費	70,000	67,950	2,050
	支 払 手 数 料	1,085,000	1,039,290	45,710
	交 際 接 待 費	4,920,000	4,883,952	36,048
	補 助 活 動 費	12,000,000	11,819,937	180,063
	徴収不能額等	(0)	(0)	(0)
教育活動支出計	597,285,000	593,626,019	3,658,981	
教育活動収支差額	60,835,000	62,249,486	△ 1,414,486	

(単位 円)

		予 算	決 算	差 異	
教育活動収入の部	事業活動収入の部				
	科 目				
	受取利息・配当金	(14,000)	(6,546)	(7,454)	
	その他の受取利息・配当金	14,000	6,546	7,454	
	その他の教育活動外収入	(0)	(0)	(0)	
	教育活動外収入計	14,000	6,546	7,454	
教育活動支出の部	事業活動支出の部				
	科 目				
	借入金等利息	(1,150,000)	(1,101,527)	(48,473)	
	借 入 金 利 息	1,150,000	1,101,527	48,473	
	その他の教育活動外支出	(0)	(0)	(0)	
	教育活動外支出計	1,150,000	1,101,527	48,473	
	教育活動外収支差額	△ 1,136,000	△ 1,094,981	△ 41,019	
	経 常 収 支 差 額	59,699,000	61,154,505	△ 1,455,505	
特別収入支	特別収入の部	科 目			
		資産売却差額	(1,250,000)	(1,231,999)	(18,001)
		設 備 売 却 差 額	1,250,000	1,231,999	18,001
		その他の特別収入	(2,200,000)	(2,159,208)	(40,792)
		過 年 度 修 正 額	2,200,000	2,159,208	40,792
		特別収入計	3,450,000	3,391,207	58,793
	特別支出の部	科 目			
		資産処分差額	(0)	(4)	(△ 4)
		設 備 処 分 差 額	0	4	△ 4
		その他の特別支出	(110,300,000)	(110,526,513)	(△ 226,513)
過 年 度 修 正 額		110,300,000	110,526,513	△ 226,513	
	特別支出計	110,300,000	110,526,517	△ 226,517	
	特 別 収 支 差 額	△ 106,850,000	△ 107,135,310	285,310	
	〔予備費〕	(0)		0	
	基本金組入前当年度収支差額	△ 47,151,000	△ 45,980,805	△ 1,170,195	
	基本金組入額合計	△ 18,500,000	△ 18,394,594	△ 105,406	
	当年度収支差額	△ 65,651,000	△ 64,375,399	△ 1,275,601	
	前年度繰越収支差額	△ 772,277,231	△ 772,277,231	0	
	基本金取崩額	0	0	0	
	翌年度繰越収支差額	△ 837,928,231	△ 836,652,630	△ 1,275,601	
(参考)					
	事業活動収入計	659,984,000	659,273,258	710,742	
	事業活動支出計	708,735,000	705,254,063	3,480,937	

令和6年6月28日

確認申請を行う年度において設置している学部（学科）の一覧

学校名	湘南平塚看護専門学校
設置者名	学校法人 清水学園
学科名	看護学科